

災害



災害時の心得

◆総務課総務係 TEL 2-3111 ◆母島支所庶務係 TEL 3-2111

小笠原村において一番注意すべき災害は、台風と津波による災害です。
台風に関してはある程度進路等の予測が出来るものの、津波に関しては、襲来まで一刻の猶予もない場合が考えられます。災害は明日にも起こるということを想定して普段から備えをしておきましょう。
村民一人一人が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持って、自主的な防災活動を心掛けていくことが大切です。

日頃の備え

- テレビや防災無線等から伝えられる気象情報、注意報、警報には、普段から耳を傾ける習慣をつけておきましょう。
- 避難所、避難経路を確認しておきましょう。
- 家の中で家具が転倒したりする等の危険な箇所がないか点検しましょう。また、事業所においては、火気器具、危険物の保管・管理に十分注意してください。

災害が起こりそうなときは

● 防災無線による緊急放送

台風の接近や、津波の発生が予想される時は、防災無線において情報をお知らせします。
※住宅の中で防災無線を聞くことのできる「IP告知端末」が設置されていないご家庭は、総務課IT推進係(2-3111)までお問い合わせください。

● 台風が近づいてきたら

- 家屋、塀、商店の看板などの老朽化している部分や窓、雨戸などを補強しましょう。
- 排水溝や下水道などがゴミで詰まっていないかどうか、確認しましょう。
- 断水・停電に備えましょう。(断水が停電によって起こる地域もあります。) 復旧するまでの間のために飲料水、生活水、ろうそく、ランプ等を準備しましょう。

- 風雨が強いときには、みだりに建物の外へ出ないようにしましょう。車やオートバイの使用も、転倒や倒木の被害を受けることが考えられますので、極力避けるようにしましょう。

● 万が一災害が発生した場合

正確な情報を防災無線でお知らせします。勝手な判断や情報に惑わされないようにしましょう。
また、生命の危険が生じた場合や、防災関係機関等から避難の勧告・指示があった場合は、すみやかに避難しましょう。

避難所について

台風や地震による津波の被害が想定される場合は、村内の各拠点ごとに避難所が開設されます。災害は、いつどんなときに起こるかわかりません。普段から避難所の開設場所、避難所までの経路を各自で確認しておきましょう。避難所の開設場所は防災無線でお知らせします。

- 避難所(避難所では、毛布とカーペット、水とアルファ米の備蓄食料が準備してあります。)

| | 父島 | 母島 |
|-------|--|-------|
| 台風の場合 | 小中学校体育館 地域福祉センター(ウイズ) 扇浦交流センター 小笠原高校体育館 | 母島支所 |
| 津波の場合 | 小中学校体育館 扇浦交流センター 小笠原高校体育館 奥村旧高校跡地 | 母島診療所 |

避難するときに注意しておきたいこと

- 単独で行動することは避けましょう
警察・消防団等の防災機関の誘導に従って落ち着いて行動しましょう。
- 電気やガス等、火の元の始末と戸締りを確実に行いましょう。
- 避難はお早めに
お年寄りや子供、病人、体の不自由な方などのいる家庭は早めに避難しましょう、また、これらの方々には家族ばかりでなく近所の方も気配りをするよう心がけましょう。
- 台風や大雨の場合
崖崩れ・鉄砲水等の災害が発生する危険があります。土砂災害が発生する前には、地面や崖にひびが入ったり、濁った水が流れるなどの前兆現象が起こる場合があります。このような場合には、防災関係機関に連絡をするとともに、危険な場所に近づくことなくすみやかに避難しましょう。
- 津波警報が発令された場合
すぐに近くの高台へ避難しましょう。また、高潮の恐れもありますので海岸線には興味本位で近づかないようにしましょう。

高齢者や心身に障害のある方を守る

高齢の方や心身に障害のある方は、災害時において、行動、情報の確保、体力的にさまざまな制限を受けることが多く、家族や近所の方の協力が必要になります。いざという時の避難の方法や安全の確保、情報の提供など、できることを積極的に協力しましょう。

火災・救急・遭難等の父島・母島での火災や救急等の場合は、「119」通報にて対応しています。
次のような場合はそれぞれ「119」をダイヤルして、下記の内容を落ち着いて正確にお話ください。応答後、指示および連絡があります。

● ケガ・病気の場合

- ① 現在の患者の状況(できるだけ詳しく)
- ② 氏名・年齢
- ③ 折り返し連絡できる電話番号・住所

※携帯・公衆電話から

通報している場所

折り返し、医療従事担当者から連絡があります。

● 火災の場合

- ① どこで火災か
- ② 何が燃えているのか
- ③ 通報者の氏名

消防関係者および団員が現場に急行します。

● 遭難の場合

- ① 遭難者の氏名・年齢・住所
- ② どこでいなくなったか
- ③ 通報者の氏名

※観光客なら…宿泊先・滞在予定期間

消防関係者および団員が現場に急行します。